

平成24年度 事務事業マネジメントシート

事業名	野々下地域ふれあいセンター指定管理事業			会計	款	項目	大	小
				01	03	01	04	01
政策	04	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-5	地域で支える福祉のまちづくり	主管課長	村越 友直				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	野々下福祉会館の利用者	意図	福祉会館利用者が快適に施設を利用できるようにする。
事業内容	指定管理者制度導入による管理運営を実施し、事業の充実、経費の削減、市民サービスの向上を図り、利用者の満足度を高める。			
事業開始から現在までの状況変化	野々下福祉会館は昭和59年にオープン以来、地域福祉活動の場として徐々に利用範囲が広がるとともに、高齢者の憩いの場として定着していった。施設の老朽化が進行することによる施設改善、さらにはIT化が進む中、使用申請から許可までの一環したスピーディが求められるとともに、きめ細やかな対応も求められている。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成22年度	平成23年度	平成24年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	総合的な満足度の割合			91.50	%	↑↑↑
②							
③							
④							
指標で表すことができない定性的な成果	福祉会館まつりにおいて、地域の諸団体との合同開催等連携に努めた。				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・福祉会館まつり、ゆりかごコンサートなどの自主事業を実施した。 ・和室照明器具の交換や多目的トイレに暖房便座を設置した他、指定管理者による小破修繕が行われた。		
事務事業のコスト		平成22年度	平成23年度	平成24年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)				9,323,000			
事業費(b)(円)				9,323,000			
うち一般財源				9,323,000			
職員給与費(c)(円)							
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H24)の改善計画	利用者の視点に立った修繕が行われた。	③取り組みの課題	市民サービスを下げることなく更なる経費の削減が望まれる。
----------------	--------------------	----------	------------------------------

②今年度
(H24)に
実施した
取り組み

市民まつりにおいて地域諸団体との連携が図れた。

④今後の
改善計画

自主事業の充実と利用者の増加を図る。